

授業改善プラン 八雲小学校

第5学年授業改善プラン

第5学年

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領 域：話すこと・聞くこと】 ○意見の共通点に着目して、考えをまとめる。 【領 域：読むこと】 ○情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約する。	・話し手の意図を考慮することや文章を要約することができるようにするために、話の要点に注目しながら聞いたり、目的に応じてメモを取ったりさせる。 ・説明文の学習では、筆者の伝えたいことにつながるキーワードに着目させ、その言葉をまとめる活動を通して、要約したり、要旨をとらえたりする力を身に付けることができるようにする。
社 会	【見方・考え方：位置や空間的な広がり】 ○世界の主な大陸や海洋、世界の主な国の名称と位置、世界の中の日本の位置関係などを理解する。 ○複数の資料を関連付けて考察し、表現する。	・都道府県や主な国の名称と位置を確かめながら各単元の学習を進めることにより、国土の位置や領土の範囲について定着を図る。また、定着を図るために学習用端末のドリルパークの活用も積極的に行う。 ・主な工業地帯や地域について調べていく中で、なぜ、その地域で盛んになったのか、立地、交通網の発達の条件など、複数の要因を照らし合わせながら理解できるようにする。
算 数	【領 域：図形】 ○身近にあるものの面積を推察する。 【領 域：数と計算】 ○除数と余りの関係を説明する。 【領 域：「変化と関係」】 ○折れ線グラフと表について、二次元数を利用し問題を解く。	・第5学年の面積の学習で、第4学年での既習事項を活かした指導する。見通しをもつ活動を重視したり、長さや面積を予想したりすることで、量感を育てる。 ・小数のわり算の学習の中でも、余りが除数より小さいことや、$(被除数) = (除数) \times (商) + (余り)$の式に当てはめて、それぞれの大きさの関係を捉えられるようにして指導する。 ・折れ線グラフに表すと変化の様子等が視覚的にすぐ分かるよさがあることや、折れ線グラフに表すことで自分が伝えたいことが伝わりやすくなることが実感できるように指導する。
理 科	【領 域：生命・地球】 ○オオカマキリの1年間のようすを理解する。 【領 域：物質・エネルギー】 ○冷たい飲み物の入ったコップのまわりに水滴がついた理由を記述できる。	・動植物の観察では、観察の視点をはっきりとたせ、成長の様子を記録できるようにする。 ・観察、実験をただで終わらせずに、結果をノートに記録・整理する時間を十分に確保し、そこから何が分かるか自分の言葉で考えてまとめることができるようにする。

外国語	【領域：積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度】 ○音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。	・基本的な語彙を増やすために、ゲームなどで表現に慣れ親しむ活動を行う。 ・音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や、基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、「自分の考えや気持ちなどを伝え合う」活動を行う。 ・ALT と専科教員によるスモールトークを充実させて、言葉や話題が聞き取れたことに自信をもたせる。そして、推測しながら聞くことに意欲的な態度を育てる。
-----	---	---